

いとん

飯南



飯南町広報

平成17年8月19日 No.8



8月号

頓原風物詩

とんばらふる里夏祭り

特集：町政座談会・飯南町新議会構成・お知らせ掲示板 など

県消防操法大会に出場

とんばらふる里夏祭り

7月23日土

頓原庁舎前広場

夏情緒たっぷりの賑やかさに包まれ

七月中旬から八月にかけて、町内では毎年様々な夏祭りが催されます。

七月二十三日には、役場頓原庁舎前広場を会場として、とんばらふる里夏祭りが開催されました。会場には町内から多くの方が足を運ばれ、色とりどりの浴衣や法被に身を包んで祭りを楽しまれています。

メインステージでは、桜ヶ台保育所のかわいい太鼓でイベントが始まり、地元グループのパワーママーズやかるがもの会による踊りや銭太鼓、マジック

ショーや歌謡ショーなどイベント盛りだくさんの内容でした。

また、町区のみなさんに よる恒例の盆踊りも披露されました。訪れた方も 輪の中に加わって踊り、開場が一体となつた楽しい 夏祭りとなりました。



元気でかわいい太鼓でスタート



森と遊ぼう!

県民の森サマーフェスティバル2005

7月28日(木)~8月1日(日)



自然から健康を学びました



養老猛先生の昆虫教室



竹細工を作りました



町区恒例の盆踊り



七月二十八日から八月一日までの五日間、県民の森サマーフェスティバルが開催され、期間中は多くの家族連れで賑わいました。メインイベント日の三十日・三十一日には木工品作りや火熾しなどの体験コーナー、地域の皆さんのが地元食材を生かして作られた特産品・食べ歩きコーナーなど様々なイベントがあり、訪れた方を楽しませていました。

中でも昆虫教室やヤマメのつかみ取りは子ども達に大人気で、元気いっぱいに森や川を駆け回る姿が見られました。

また、森林セラピーーや園芸セラピーなど自然を活用した新たな体験コーナーもあり、参加者も興味深そうに体験されていました。

夏休みの自然体験に子どもたちの眼が輝いた

防災対策

行革・役場組織

Q 地震があり、飯南町はテレビで震度1だったが、体感的に震度1とは思えなかつた。町の震度計は正常か。

A 町の震度計は岩盤の上にあり、震度表示が1程度低い。震度計移設は無理だが、町独自の防災体制で対応する。

Q 行革は早急にするべき。お金がなくても町職員のマンパワーを利用し、新しい発想でまちづくりを考えて欲しい。分庁方式では町民が「どこに行けばいいか、その課が何をしているか」分からぬ。検討してほしい。

A 合併後スマートな行政サービスをするため、現在の組織でスタートした。課のスリム化等を実施するなど、早期に改革を進める。

Q 町内にスキー場、キャンプ場など、同じような施設が多い。施設統合の計画は。

A 施設によっては合理化が良い場合もある。意見を聞きながら方向付けしたい。

Q 飯南病院は入院施設があるために赤字が多いのでは。小さい町で総合病院の継続は難しいのでは。

A 億円。再建計画の策定を進めており、入院施設は必要だ。病室の利用率は良く、経営の圧迫はない。病院のあり方を皆さんと協議していきたい。

A 国保だけではないが、助役を本部長として、チームを組んで取り組んでいる。法的な措置も考えたい。

A 合併前から未収金があり、前回の座談会では回収に努力しているとの説明があつた。今後、どう回収するのか。

A 未収金対策は、旧赤来町から対策本部で個別に行っている。引き続きチームを組んで個別に回収に当たる。

Q 長期滞納はどう処理をしているのか。自動振替にしたので回収率が落ちたのは。

A 最終手段として不納欠損処分が一つの方法。自動振替による影響はある。

Q 中山間地域直接支払制度は、町で力を入れて行っておられる。大切にして欲しいが国の助成条件が厳しい。

A 固定資産税の減免措置が業内容などにより県の助成金制度が受けられる場合もある。あるか。

Q 町外・県外からの企業誘致について、町の支援はある。

A 生命産業創造プロジェクトを中心、町外者も取り込む形で交流を進めたい。

Q 登山道を整備し、山登りピーアクティビティ事業に繋げてほしい。

Q 国・県の施設があるメリットや豊かな自然を、事業計画にどう取り入れるのか。

A 山の活性化に、町外者も取り組んで取り組んでほしい。

未収金問題

Q 行政報告で国民健康保険の未収金が約七百万円と聞いた。未収金徴収に努力して欲しい。

A サギやハクビシンの被害に困っている。担当者を決め、成果を上げて欲しい。

産業の振興

Q サギやハクビシンの被害に困っている。担当者を取り入れる仕組みづくりが必要。みんなが智恵を出して取り組んでほしい。

なんのまちづくり

15ヶ所で開催している町政座談会。なご意見や提案をいただいている。民の皆さんからのご意見や提案、の回答の概要を紹介します。



7月28日から8月31日の間、町内各会場では、まちづくりに向けた様々そこで今月号から2回に分けて、町それに対する町から



ＴＶでの演説は、法律上行えない。

市町村合併

Q 国の合併指針により、次の合併も予想される。それをふまえたまちづくりが必要では。

A 合併して一万人未満の自治体には、すぐに次の合併を勧めていくことはないようだ。自立するまちづくりに向かへ、皆が一緒に力を合わせていく必要がある。

Q 合併して地名や集落がわからない所がある。地名を入れた地図などを配布してほしい。

A 色々な機会で広報したい。

A 学校の努力でしつかり学力をつけてもらつてあり、進学・就職の面で県内でも評価されている。



教 育

Q 中高一貫教育の経過報告をしてほしい。一貫教育は入試もなく、学力が落ちるのでは。

Q 佐見と赤名マーケット付近の改良を今年度行われている。この工事により国道54号の歩道が繋がる。要望はしているが、廃止すると再開是不可能であり、継続したい。

A 続に向け、地域で協力できることはしていきたい。

A 佐見と赤名マーケット付近の改良を今年度行われている。この工事により国道54号の歩道が繋がる。要望はしていきたい。

情報・通信

Q 高速道完成後、国道五十四号の交通量が減るが、町はどうのように考えているのか。

A 国道五十四号を利用する人に、目的地としてきていただけるまちづくりを進めます。

Q 携帯電話の電波が届かない地域が多く、できればアンテナを建てていただきたい。

A 全地区で電波が届くような状況が望ましいが、アンテナを設置する場合、利用者がある程度いないと難しい。

A 今後の課題であり、研究する必要のある分野だ。

Q 文字放送の量が合併して増え、見るのが苦痛だ。大切な情報も増えており、見やすく改善してほしい。

A 現在のシステムでは、現状のサービスが限界。デジタル化もあるが、システム

Q 議員選挙で、選挙公報の発送が遅い。候補者の主張を早く知りたいので、CATVで流れないか。

A 選挙公報は告示日の締め切りをもって印刷となり、今以上の改善は難しい。CA

Q 河川清掃は自治団体ご協力いただきたい。

A 河川清掃は自治団体ご協力いただきたい。

Q 川尻経由で路線バス導入してほしいが、冬季は除雪の関係で、現状では不可能だと聞いた。

A 路線バスの見直しを協議中である。難しい面もあるべきか話し合いを進めた

Q 軒原中は部活が終わるまでバスが待機し、赤来中は保護者が迎えに来ている。両校に違いがあるが。

A 軒原中は合併前からスクールバスを運行してきた。赤来中は自転車通学。その流れが現在まで続いている。

飯南町新議会構成



議長
那須 穂士輝



副議長
難波 俊司

新しく14人の議員が誕生

(敬称略)

8月2日、改選後の初議会が開かれ、正副議長及び委員会の構成が決まりました。新議会は14人で構成され、任期は平成21年7月31日までです。

議員紹介



石橋 宏



若林 達治



安部 朋次



櫻井 秀憲



小野 覚



瀧尻 行雄



伊藤 好晴



永井 章



長島 正一



本田 哲三



難波 伸一郎



門 真一郎

常任委員会

総務厚生常任委員会

◎安部 朋次 ○小野 覚
石橋 宏 櫻井 秀憲
本田 哲三 難波 伸一郎

教育経済常任委員会

◎瀧尻 行雄 ○伊藤 好晴
若林 達治 難波 俊司
永井 章 長島 正一
門 真一郎

議会運営委員会

◎櫻井 秀憲 ○若林 達治
石橋 宏 本田 哲三
伊藤 好晴 難波 俊司

◎は委員長 ○は副委員長



第30回 雲南管内消防操法大会 7月17日 雲南市木次町

第49回 消防操法大会島根県大会 8月7日 邑智郡邑南町

結果は上位入賞には届きませんでしたが、
消防操法技術や団結力の向上など、得るもの
が多い大会となりました。
両大会とも猛暑の中での開催となり、選手には厳しいコンディションでしたが、最後まで引きびきびとした動作をこなし、数ヶ月にわたって訓練してきた成果を十分に発揮しました。

飯南町消防団は、ポンプ車の部に第七分団、小型ポンプ車の部に第四分団が選手となり、雲南管内大会と県大会に出場しました。



飯南町消防団

飯南町消防団は、ポンプ車の部に第七分団、小型ポンプ車の部に第四分団が選手となり、雲南管内大会と県大会に出場しました。

両大会とも猛暑の中での開催となり、選手には厳しいコンディションでしたが、最後まで引きびきびとした動作をこなし、数ヶ月にわたって訓練してきた成果を十分に発揮しました。



都市と人との交流が活発に行われました

旧頓原町で結んでいた伊丹市との姉妹都市提携を、七月十日に改めて飯南町として結びました。

山崎町長と伊丹市の藤原市長は、これまでの交流の歴史を大切にし、更に友好親善を深めて行くことを誓いました。



左より藤原市長・倉橋副議長・那須議長・山崎町長

伊丹市・大村市・飯南町姉妹都市提携25周年記念式典

8月3日(水)・長崎県大村市

昭和五十五年より姉妹都市交流を行っている本町と伊丹市、同年に提携を結んだ伊丹市と長崎県大村市の姉妹都市提携二十五周年記念式典に、本町から山崎町長や姉妹都市協会会員など約二十人が出席しました。



四半世紀に及ぶ交流の歴史を祝い、各市町の特色を生かし、姉妹都市提携二十五周年記念式典に、本町から山崎町長や姉妹都市協会会員など約二十人が出席しました。

また、夜には大村市の夏祭り「夏越（なごしまつり）」の総踊りに参加し、大村市民と一緒に踊りました。

本町から山崎町長などが出席し、合併後の町の話題や今後の交流事業などについて、意見交換が行われました。

昭和五十五年より姉妹都市交流を行っている本町と伊丹市、同年に提携を結んだ伊丹市と長崎県大村市の姉妹都市提携二十五周年記念式典に、本町から山崎町長や姉妹都市協会会員など約二十人が出席しました。

四半世紀に及ぶ交流の歴史を祝い、各市町の特色を生かし、姉妹都市提携二十五周年記念式典に、本町から山崎町長や姉妹都市協会会員など約二十人が出席しました。

また、夜には大村市の夏祭り「夏越（なごしまつり）」の総踊りに参加し、大村市民と一緒に踊りました。

本町から山崎町長などが出席し、合併後の町の話題や今後の交流事業などについて、意見交換が行われました。

伊丹市・飯南町姉妹都市提携調印式

7月11日(月)・兵庫県伊丹市

飯南町小学5年生伊丹体験ツアー

7月28日(木)～29日(金)・兵庫県伊丹市



平成八年から姉妹都市協会が行っている、町内小学五年生を対象とした伊丹体験ツアーに、五十七人の児童が参加しました。

このツアーでは、伊丹市内の見学や伊丹市長への表敬訪問などを行い、姉妹都市である伊丹市を知る機会と、都会の雰囲気を味わうことを目的に行われています。

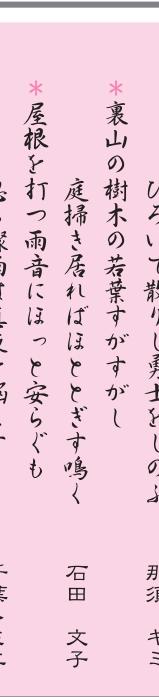
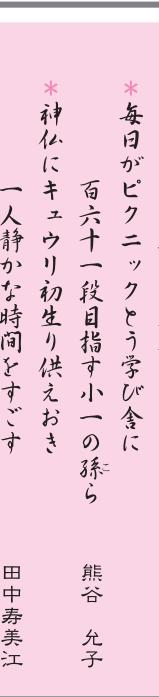
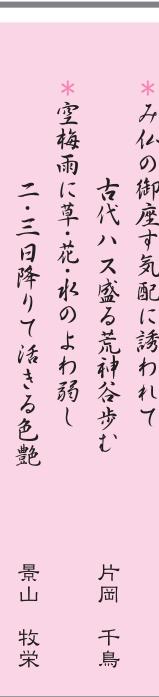
参加した児童は、空港や街の様子を体験でき、大変満足していました。

- * 笑ってゆく空を映せる水たまりの白く小さき橋円を跨ぐ
藤原 正
江田島の兵舎の庭の松ボックリ
ひろいて散りし勇士をしのぶ
那須 キミ
裏山の樹木の若葉すがすがし
石田 文子
庭掃き居ればほとゞきす鳴く
忽ち驟雨は真夜を悩ます
千葉トミエ
毎日がピクニックとう学び舎に
百六十一段目指す小一の孫ら
神仏にキュウリ初生り供えおき
一人静かな時間をすごす
み仏の御座す気配に誘われて
古代バス盛る荒神谷歩む
空梅雨に草・花・水のよわ弱し
二・三日降りて活きる色艶
片岡 千鳥
田中寿美江
熊谷 允子
* 笑い声あげて話を聞じ込める
景山 敬子
福間 秀夫
* 酸欠の里が祭りの呼吸する
田中寿美江
* 孫の肌嫁に内緒で抱きしめる
柳子
加藤 安次
渡辺 盛政
雨石
那須 キミ
* 草むしり見慣れぬ虫に睨まれる
ややこしい詰輪ゴムで留めておく
品行は方正で居て責められる
町に出て夢の続きを買って来る
千客万来雨の日雨が連れてくる
景山かずこ

短歌 塙原公民館短歌教室 七月詠草

川柳 とんばら川柳会 七月詠草

七月詠草



文化財探訪

6

教育委員会

先月号に引き続き、賀田城についてご紹介します。

当時の合戦において城を守ることは重要な戦略の一つでした。

今回は、城の防御施設について見ていただきたいと思います。

賀田城

その3

かだじょう 飯南町下来島



賀田城の堅堀

賀田城の構造上の特徴として「連続堅堀群」と七郭・八郭に設けられた「土壘」「虎口」構造があげられます。先月号で紹介しました。

連続堅堀群

連続堅堀群はその名称通り、連続した堅堀(等高線に垂直に掘り込まれた溝)を指します。

(先月号の見取り図を参照してください)

賀田城の場合、主郭部の南側一帯に長さ約三十メートル、幅三～五メートルの堀が八本、真下へ向かって延びています。一番外側の二本は、幅・深さとも他の六本の堀より大きいものです。この連続堅堀群は、石見地方で多く見られる施設ですが、赤名・来島地区では初めて確認されました。

賀田城は、急峻な松本山の山頂に築かれていますが、主郭部南側には、比較的緩やかな斜面が広がっています。連續堅堀群は、敵勢力の投入し

やすい平坦地をなくすという目的で作られたと考えられます。また、建物や登城道のあつた三郭は、二郭よりも重要視されたと考えられます。

深く掘り込まれた堀を越えて進むことは困難ですから、緩やかな斜面の山腹を東側から横移動され、三郭を突かれることを阻止する為の構造でもあります。

土壘・虎口

八郭は賀田城の西側突端にあり、狭いながらも平坦地をつくりだし、土壘を巡らせ城内兵力を配置して、敵の侵入を阻止しています。

八郭が落ちると、敵は上部の七郭へと攻め上がろうとします。七郭への進入口である「虎口」は八郭の土壘の延長上に設けてあり、攻城兵は自然と土壘の上を移動する仕掛けになっています。敵兵に土壘の上を歩かせて、虎口に導

八郭は最前の防御施設でありながら、いわば敵のオトリとなり、攻め手側を効率的に滅するという特殊な役割を持つました。このように、土壘の上を移動する仕掛けは、城の構造・防御施設の配置は県下でも類例がなく、初めての発見になりました。



7郭・8郭 模式図

7郭・8郭 縄張図

出かける
医療

私たちにお任せください！

飯南病院 外来編

在宅訪問診療

リハビリテーション科

かかりつけ医

飯南病院の外来部門では、外来診療、検診、胃カメラなどの検査を行うほか、出張診療、在宅訪問診療など、病院スタッフが院外に出かけて診療を行なう「出かける医療」に取り組んでいます。今回はその一部を紹介します。

寝たきりで、病院への通院が困難な方を対象に、担当医がお宅へ伺って診療を行っています。

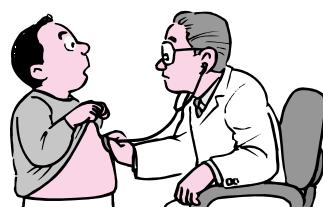
志々地区への
出張診療

夕方診療(予約制)

内科 水・木・金曜午後
整形外科 木曜午後
歯科口腔外科 金曜午後

リハビリテーション科では入院の方や外来通院の方に対し、身体の機能を高めたり、回復のためのリハビリテーションを行っています。

毎週木曜日の午後、養護老人ホーム「琴引の里」、介護老人福祉施設「愛寿園」へ出向き、入所中の方の診療を行っています。



このように、患者様のライフスタイルに合わせた医療サービスの提供ができるよう心がけています。ご質問、ご要望等ありましたら、遠慮なくお聞かせください。

お問い合わせ先 飯南病院外来 ☎72-0221(代)

総合診療科を開設しました（飯南病院）

7月から“総合診療科”を開設しています。
ここでは、内科や外科など総合的な診察を行っています。

診療日 毎週木曜日(第1木曜日は休診)
診療時間 14時～17時(予約制ではありません)



総合診療科担当医
梶谷 隆 医師

職員異動

8月1日付（）は旧任

宍戸紫乃
来島診療所主任看護師
(飯南病院主任看護師)

高橋香織
飯南病院看護師
(来島診療所看護師)

町内を見学してみませんか？

この事業は、町民の皆さんから「飯南町をもっと知りたい」という意見をいただき、出前講座の一貫として行うものであります。地域の様子や公共施設の場所を知つていただきま

「町内めぐり」事業



■実施期間
平成十七年八月一日から
平成十八年三月三十一日(金)

■実施できる団体等
①自治区・自治会・組等
②公民館・婦人会・青年団などの公共的団体
③NPO・まちづくり団体などの地域づくり団体
④その他町長が認めた団体

■実施方法
①役場窓口に備え付けの申請書に記入してお申し込みください。
②後日、役場より実施日などをお知らせします。

■町内めぐり先

あらかじめ役場で作成した日程表に基づくものとします。
マイクロバスの燃料費は団体等で負担いたします。

■お問い合わせ先 総合調整課 TEL七六一—二九〇二

シニアの方の就業・就職に

パソコンを活用した

総務・経理 実務講習開催



■受講期間
十月十一日(火)～二十四日(月)
※土日を除く

事業主との合同面接会も予定(二十四日)
■受講時間 九時～十七時

■対象者 六十歳代前半で就業意欲のある方

■講習内容

雇用保険・社会保険・給与計算・簿記の基本・
ビジネスマナー・インターネットとメール等

■受講料無料
■会場 J.A.雲南三刀屋総括支所
■定員 十五人

■応募締切 九月二十六日(月)※必着
■お問い合わせ先

(社)島根県シルバー人材センター連合会
TEL〇八五二一一八一一一七一

町の花・町の木 アンケート集計結果

6月下旬より、町民の皆さんにご協力いただいた「町の花・町の木」のアンケートの集計結果をお知らせします。町の花・町の木は、9月4日の合併記念式典で正式に発表する予定です。

集計結果

●町の花 回答票数 1,190票
第1位 ほたん(719票)
第2位 つつじ(146票)

●町の木 回答票数 1,192票
第1位 ブナ(384票)
第2位 松(362票)

お知らせ

平成17年度

国民健康保険料が確定しました

四月から七月まで仮算定賦課していました国民健康保険の保険料は、前年の所得の確定により本算定保険料を決定しました。

被保険者一人一人に対して均等に賦課されます。被保険者の世帯に賦課されます。(表1)

そのため、八月からの納付保険料が、四月から七月までに納付していただきた額とは異なってきます。

八月からの保険料額は、本算定により確定した年間保険料額から、四月から七月の仮算定額を差し引いた残りの額を来年三月までの八期に分けて納めていただきます。

表1 【国民健康保険料率】

	医療分	介護分
所得割	8.45%	1.28%
資産割	39.51%	10.47%
被保険者均等割	26,098円	8,700円
世帯平等割	21,017円	4,707円

表2 【保険料限度額】

	医療分	介護分
限度額	530,000円	80,000円

とんばら維持出張所からのお知らせ

晴雲トンネルを通行される皆様へ

国道54号の晴雲トンネル(飯南町花栗)は、昭和39年に完成した延長1,120mのトンネルです。このトンネルには歩道が無いことから、歩行者や自転車が通行される際に「トンネル内に歩行者や自転車がいますよ」という注意を促す電光掲示板(写真1)がトンネル入口とトンネル内にあります。



歩行者や自転車で通行される方は、トンネルに入る前に“通行を示す”ボタン(写真2)を押してください。車両で通行される方は、電光掲示が表示されていれば、歩行者や自転車に注意を払って通行してください。



お問い合わせ

〒690-3202

島根県飯石郡飯南町頓原1618-4

国土交通省 順原維持出張所 TEL(0854)72-0004

FAX(0854)72-0726

HPアドレス:<http://www.matsukoku-mlit.go.jp/tonbara-iji>

石綿を取り扱う作業等に従事していた方は健康診断を受けましょう

石綿による健康被害が多発しており、今後も増加することが懸念されていますので、最寄りの医療機関にご相談の上、胸部レントゲン検査等による健康診断を受診するようにしてください。
※受診の際、医師に自分が石綿に係る作業を行っていた旨をお伝えください。

お問い合わせ先

島根労働局 TEL○八五二一ー〇一七〇〇九
松江労働基準監督署 TEL○八五二一三一一一六六
出雲労働基準監督署 TEL○八五三一二一一一四〇
島根県産業保健推進センター TEL○八五二一五九一五八〇

健康への影響や治療方法等のご相談は:

三次おやこ劇場地域公演 コンサート

~もうひとつの音楽室~

会場 ■ 来島基幹集落センター

7/19
(火)

この公演は「仲良し生の故郷を歌う会」という町内女性グループの方が主催しながら毎年開催されており、今年は7月十九日に行われました。同グループは「仲良し達にいたやさの感動を体感してやった」という思いを込めて活動されており、仲良しメンバーも増加して、活発な活動をされています。

今年は、松嶋エリカ・コージックの笠井尚貴氏による「樂しきお楽器の演奏が行われました。玲瓈の達は一緒に歌を歌つたが、スマカスを使って演奏に加わったところ、樂しき歎を運びました。

7/31
(日)

やまめのつかみ取り大会



会場 ■ 谷高齢者コミュニティセンター

この日は、谷高齢者コミュニティセンターにて、地域の方々が塙焼をして参加者に振舞い、参加者は焼きたてのヤマメの味を楽しんだ。つかみ取った後は、獲ったヤマメを地域の方々が塙焼をして参加者に振舞い、参加者は焼きたてのヤマメの味を楽しんだ。

つかみ取った後は、獲ったヤマメを地域の方々が塙焼をして参加者に振舞い、参加者は焼きたてのヤマメの味を楽しんだ。

この日は、「加田の湯」での交流イベントで、セントー横山設置したプール内で、活動の「ヤマメ」を捕まえたものと、予定も達成されました。回数が見られた。

つかみ取った後は、獲ったヤマメを地域の方々が塙焼をして参加者に振舞い、参加者は焼きたてのヤマメの味を楽しんだ。



宝くじは豊かさ築くチカラ持ち。

宝くじは、広く社会に役立てられています



おこやかに 7月届出分		
お名前	親族	地区
大嶋 基三様(82)	新生児	届出人
奥野 空良(ちやん)	圭一(野原)	地区
伊藤 慶祐(ちゃん)	(町区)	
寺西 清則様(67)	寺西	
永妻 幹雄(川西)	道枝様(78)	
塚尾「ウメ様(87)	正之(上赤名)	
景山 雅文様(52)	芳二(畠田)	
口高 幸信様(78)	道枝様(78)	
吉良 和子様(45)	秋夫(上区)	
松田 元次様(81)	悟(上赤名)	
高田 成喜様(72)	強(佐見)	
川上 雅敏様(74)	榮次(上來島)	

今日の表紙

八月七日に行われた県消防操法大会(飯南町)で、本町の代表として出場した第四分団と第七分団。

この日が来ぬれど、選手は毎週行われる厳しい訓練に耐え、選手をサポートする各団の皆さんと一緒に訓練に参加されました。

この日の訓練の成果は、大体でも十分に發揮されており、その後の消防活動など様々な面で意義のある貴重な体験になったものでした。